

平成21年度 一人一提案 結果報告

提案者	所属名	豊田中学校	職・氏名
-----	-----	-------	------

提案の件名	サイクル	事務室のレイアウト変更
改革案		狭い事務室に、キャビネットやパソコンデスク等が目一杯に設置されており、移動も困難な状態にある。また高さのある棚等で視界が遮られ、体感的に閉塞感が強い。 使い勝手が良く、開放感のある環境への改善が必要である。
具体的な取組		①机やキャビネット等の配置を見直すことで動きやすいスペースを確保する。 ②視覚的に閉塞感のある配置を改め、開放的な空間を作り出す。 ③不要な保管物を廃棄することにより、キャビネット等も廃棄し、スペースを確保する。 上記①から③の取り組みを行うことで、事務室の配置が改善し、効率的な動線が確保されることによって、業務の生産性が向上した。また、明るく開放的な雰囲気になり、執務環境改善による業務効率の向上も見られる。
実施後の効果		大いに効果あり
取組に対する課題点等		狭い事務室という限りあるスペースを、以前より有効に活用でき、また執務環境的にもより良いものに改善できた。一方で、スペース確保を大命題として、キャビネット等を大胆に廃棄したため、文書等の保管方法や使い勝手を更に見直していく必要がある。

平成21年度 一人一提案 結果報告

提案者	所属名	豊田中学校	職・氏名
-----	-----	-------	------

提案の件名	サイクル	校納金の集金額固定化
改革案		校納金の集金額は、毎月変動があり、うっかりミスによる引き落とし不能が多発した。また、現金集金する場合、生徒が現金を持参し、また釣り銭発生時に保管するリスクが発生する。事務室では釣り銭に対応するために収納事務が繁雑になっていた。
具体的な取組		①校納金の月額を一定にすることで、保護者の集金額に対する認知度を上げた。その結果、うっかりミスによる引き落とし不能が減少した。 ②学年便り等で、引き落としの期日と金額を繰り返し連絡し、周知徹底した。 ③月額を「1万円」等の釣り銭の発生しにくい金額にし、生徒が校内で現金を保管するリスクを減らした。 ④同時に、釣り銭が発生しにくいいため、収納事務の効率が上がった。
実施後の効果		効果あり
取組に対する課題点等		①集金額を固定化するためには、校内で各会計に振り分ける工夫が必要になる。 ②集金回数も改善したいが、給食費が4800円と高額なため、集金計画を工夫するにも限界がある。